

# 平成 16 年台風 21 号災害記録写真展 来場者意見（全文）

西条図書館来場者アンケートで寄せられた自由意見（※）を紹介します。

※公開をご承諾いただいたご意見を原文のまま紹介しています。

## 10歳未満の方からのご意見

○こんな出来事があるなんて知りませんでした。これは、平成16年（台風21号）ががけくずれや家をなくしたり、大切な家族を亡くしてしまうなんてかなしいです。このビデオや新聞やしゃしんを見ておどろきました。このしんさいがないことをいのっています。

## 10代の方々からのご意見

○どんな災害だったのかよくわかった。（西条地区）

○うちもいま、雨がふるととなりの山がくずれそうでこわいです。まだ自分の知らないことがたくさんあった。妹が「テレビで見つなみみたい。」とっていました。（飯岡地区）

○ぼくの友達の家も水浸しだったときいたのですごくこわいと思った。家がすごいことにならないように対策をしておきたい。（飯岡地区）

○これを見てすごくこわかった。気を付けたほうがいい。（神戸地区）

○小さい時は水といえば楽しいという思いが強かった。でも年を重ねていく中で水はいろいろな表現をし、人々におそいかかるとわかった。僕も2004年の台風ではマンションの駐車場がしんすいするなどの経験をした。大人は子どもをまもるためにも水のこわさをしっかり理解して生活をしていきたい。普段生活をしていると水かさが少しふえただけでも見に行ってしまう自分に一瞬こわくなったりもした。水は人々をうるおすだけでなく人々をおそう時もあるので注意していきたいです。（新居浜市）

○西条市で、かつて台風による甚大な被害があったのは知らなかった。しかし、調べると私が住んでいる地域でも同じ災害時に一人の人が亡くなっていた。やはり、自然災害に対して無関心ではいけないのだと感じた。また、私は小学生の時、加茂川で溺れ、男性に助けられたことがあった。その経験から人を助けるといふことの重大さ、そして勇気を教わった。私は生きているが、平成16年の災害で人が亡くなっているのだから命についても考えて大切にしなければならないと思っている。それを実行し、後世まで伝えていくような活動がしたい。自分ができることを考え今生きていることへの感謝の気持ちを忘れずに生きていきたい。私はそう思います。（新居浜市）

## 大町小学校のみなさんのご意見

○私が生まれる前でお母さんがすごい風だったと聞いていました。私が5年生になったらいく「石づちふれあいの里」もぐちゃぐちゃになっているのがこわかったです。家や山がぐちゃぐちゃでどこになにがあるか分からなかったし、こんな所もやばいことが分かりました。



飯岡地区（早川）の被災状況



ふれあいの里の被災状況

○災害のおそろしさがわかってよかった。

○私は今まで災害にあったことがないので、びっくりしました。私は災害意識を持つことが災害から身を守る第一歩だと思うのでこれはとてもいいと思います。

○こんなことが私の住む西条市でも起こっていたことにびっくりした。この災害の教訓を生かし、次の大雨などの時に役立てないといけないと思う。日ごろから非常持出袋を用意するなど私も備えておかないといけないと思ったし、市もさらなる防災対策の強化が必要だと思う。

○水害を体験していないから本当のおそろしさがよくわからないけど、本当に大変なことなんだとあらためてわかりました！この前おこった広島のさいがいニュースでしていたときに私は「ふ～ん…」と見てたけど広島市の人はずごく大変だったんだとおもうと、あの時の自分が「さいいでいな。」と感じました！ぼうさいグッズをあつめて、もしものときにそなえて、用意しておくことが大切なことだと思いました！

○写真展のおかげでどんな災害があるのかよく知れてよかったです。自分もいざ災害起きたらどんな対策がいいか考えていきます！

○私がもしこういう体験をしたらと思うとすごくこわいです。もし体験しても助かるように、非常食やかい中電とう、ばんそうこうなど必要なものを用意したいと思いました。

○私は、水害体験がなく災害については深く考えてはいませんでした。だけど、防災を学習するにつれ、災害に、自分の身にもいつ起こってもおかしくないものだと思いました。これからも学校で防災のことについて学習すると思うのでしっかり学んでおきたいです。

○私は、水害体験はないけれど体験された方はとても怖い思いをしたと思います。こんな大雨がふったら川もあふれるし、私の地域は土地が低いのでしんすいするから怖いです。とくに、この大雨で亡くなられた方もいるのでとても危険です。だからそうならないためにも、いつ災害が起きても大丈夫なように準備をした方がいいと思います。

○ぼくも一度台風で家の前がはんらんしてすこしこわかった。市のほうでもう少し対策をとってほしい。東京みたいな地下に水をためれるしせつを作ってください。あと自分の命は自分で守るという言葉をもットーにがんばりたい。

○家の前の川は大雨が降ったら必ず洪水になるけど、家の中までは入ってこない。H16年の台風の際は2歳でぜんぜんおぼえてないけど、ぼくたちが生きているときにこんな大災害があったなんておどろいた。広島の大災害もこんなかんじだったのか！

○防災学習をしていて、写真や記事などがあり、防災にかんして知らないこともいろいろ知れてよかった。西条でもこんなことがあったんだなあーと思いました。体験はしていないけど、こういうのがあったんだよって下の学年にも伝えたいです。防災のことを6年生だけで伝えるとこがあるのだからこれを見て、つなげていきたいです。

○映像や写真を見て、台風の雨でこんなにひどいことになっていたのにびっくりしました。私はまだ小さかったのでぜんぜんその時のじょうきょうがどうだったか分からないけれどここに来て防災についてよくわかったし勉強になったと思います。このようなことがまた起きる前に対策を考えたいです。



加茂地区（河ヶ平）の被災状況

○平成16年の土砂災害がここまでひどいものとは思いませんでした。死者も出て、とても恐ろしく感じた。まだ2歳だったときにこのような災害があったことをとてもよく知ることができた。

○わたしは防災リーダーです。いろいろ体験したけどひどいひがいだと思いました。

○あらかじめ準備をしていないといけない事が分かった。

## 20代の方々からのご意見

○もう少し災害前の写真を使い災害があった場所などわかりやすくしてほしいです。東日本の震災で西条でも防災訓練をしましたが、水害と震災では勝手が違うと思いました。今までは、自分自身水害の被害はありませんが、防災訓練の大切さを再認識することができました。(神戸地区)

## 30代の方々からのご意見

○テレビで他県をよく見るが、この西条市でもこういう事があった事実を伝えていかなければいけないと思う。また、防災対策も同時にしていかなければ同じことを繰り返すと思う。(神拝地区)

## 40代の方々からのご意見

○あらためて、豪雨災害の恐怖を思い知らされました。西条市は、水資源に恵まれ、大規模な災害もあまり起こらないおだやかな住みよい場所ですが、このような水害もまねきやすい場所でもあることを市民も知っておかなければならないと思いました。南海トラフ巨大地震に対してもしっかり防災、減災対策をとっていただき、災害に強い西条市にしていいただきたいと願っております。(壬生川地区)

## 50代の方々からのご意見

○平成16年のこの台風の日には松山から小松町に引っ越してから約半年でした。松山に住んでいたころから勤めていた東温市の職場へいつも通り出勤。台風のため雨がどんどんひどくなり職場の人たちも心配してくれたので早めに退社。国道11号線で帰宅途中、道は川のようになり帰るに帰れない状況に！困り果て、途中のお店で待機させてもらいました。その時は、そのお店も台風のことで大変な状態なのに快く受け入れてくれ、おまけに、お店の人が私の家の近くまで行くからと車で送ってくれました。家で2人の娘だけでいたのでそのことも心配だったのですが、親切な方たちに本当に感謝でいっぱいでした。(大町地区)

○飯岡山口地区にあった町内の友人の実家が被災して、青年団総出で片付けに行ったことを思い出した。人間の力は小さく限られたものだと感じた。大規模な災害に直面した時、助け合いや譲り合いの気持ちだけではどうにもならないと感じた。(神拝地区)

○平成16年の台風で西条もひどい被害にあったことは知っていましたが、一部でした。このように写真展をしてくださると一目見ていろいろな所で被害が出ていたことを改めて知りました。最近大雨が多く、100ミリを超える雨だとひどい被害だとよく言われてきましたが、この時は150ミリだったそうで、これからも西



国道11号（小松町大頭）被災状況



飯岡地区（山口）の被災状況

条でも150ミリの雨の可能性はあるということを心にとめて防災対策を市も個人もやっていかなくてはならないと思いました。(玉津地区)

○子どもの頃、玄関のろうかギリギリまで水があふれてきたことがありました。以来、そのような光景は目にすることなく気にかけていなかったのですが、自然の恐さを忘れず備えたいです。(神拝地区)

○体験はありませんが、水の力はものすごく強く人の力は無力。沖縄竹富島で引き潮の際に沖に引っ張られそうになり、こわい目にありました。いつもは小さな川でも集中豪雨で水かさが増す。橋げたに気が引っ掛かりあふれるのはあつという間だったと聞いています。四国は山道が多くかつ雨に弱い。道路は確保できるようにお願いします。(新居浜市)

○防災100年誌に掲載されている様に西条市では、昭和51年の台風17号の時の災害がひどかったように思う。近くの水田なども海のように冠水した。今後も、大雨には十分気を付けないといけない。(大町地区)

○毎年のように台風の爪痕はひどい有様です。今年も全国で大変な状態になっています。愛媛は石鎚山のおかげでと思っていましたが、豪雨、土石流には手のつけようもなく命からがら避難するしかないという自然の恐ろしさにつくづく思い知らされています。どうか災害に見舞われた方々の無念さは計り知れませんが、安心して住める愛媛であります様に願っています。(氷見地区)

## 60代の方々からのご意見

○あのような災害があつたにもかかわらず避難場所がいまだにわからない。川には常に砂があり、あきらかに川底があがっているにも関わらず数回石をのけただけで、不安はその後も消えない。ちゃんと対策をとってほしい。(玉津地区)

○地区内で説明会がある毎に繰り返し周知徹底を図ること。ひとりひとりに認識してもらうことが、災害が起きても被害が少なく済ませることが可能になる。だれかが助けに来てくれるというような楽観的な風潮は厳につつしみ拡大防止をしたい。(大保木地区)

○気づいたこと、市民の森や八堂山にある側溝、排水路のとぎれた先は大体沢へ通じていますが、大雨の時はその側溝を水が大量に流れて、先では滝のように流れ落ちてゆきます。そして、市民の森では、沢が崩れてしまいました。あの側溝は大雨の時水を集めて力を増して良くないのではと感じます。八堂山の登山路でも同じで溝が途切れた先は滝のように流れ落ちて崩れてしまいます。山道等の溝はキケンです。水の力を分散させるしくみが必要ではないでしょうか。(大町地区)

○平成16年の台風で家の前の川があふれ床下浸水になり、もうあと10分雨が降り続くと床上へ水が来るところだった。下水もあふれ汚水が流れ出し大変だった。水はあつという間に来るので恐ろしかった。(大町地区)

○いいビデオだと思います。(西条地区)



玉津地区（玉津橋）の被災状況